

高校生が描く「住みたいまち」とは

7 月 5 日、「きくがわ高校生まちづくりスクール」を開催しました。本講座は高校生が地域と出会い、仲間とともに「やってみたい」という思いを企画・実践・発表へとつなげる全 6 回のプログラムです。

第 1 回のテーマは「まちづくりの目標は？」。講師の NPO 法人わかもののもち鈴木貫司さんの進行のもと、高校生たちは「放課後に集まれる場所がほしい」「地域の人もっと話してみたい」「安心して歩けるまちがいい」など、自分たちの暮らしと身近な理想のまちについて語り合いました。

まちは建物や道路だけでなく、人とのつながりや安心できる居場所、一人ひとりの思いが積み重なって形づくられていきます。これから参加者は地域で活動する人々と出会い、現地を訪ねながら、自分たちの関心を地域課題や魅力と結び付け、企画づくりに挑戦します。高校生ならではの視点から生まれる新しいアイデアが、地域の未来につながることを期待しています。



NEWS

きくがわのまちづくり



©えーでるわいず/「天穂のサクナヒメ」製作委員会 ©えーでるわいず/TOHO CO.,LTD

田んぼアート菊川 ライトアップ鑑賞会

7 月 18 日・19 日、下内田で田んぼアート鑑賞会を開催。今年のテーマ「天穂のサクナヒメ」を描いた田んぼアートがライトアップされ、竹灯籠のやさしい灯りとともに来場者を魅了し、幻想的な夜を演出しました。



フェスタ・カイピーラ開催

7 月 12 日、おがさセントラルパークで NPO 法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会主催のイベントを開催。ブラジル料理や子どもの遊び場、華やかなステージで、多文化交流を楽しむ笑顔溢れる一日となりました。

活動の質を高め、継続的に地域や人とつながろう

きくがわキャリアゼミ 参加募集！

「効果的かつ持続可能な地域活動とは？」

「仲間や資金の集め方を知りたい」

「情報発信を学び、活動の活性化を図りたい」

「これまでの活動を整理しレベルアップしたい」

きくがわキャリアゼミは、そんな思いを持つ人のための連続講座です。活動の原点となる「想い」を言葉にするところから始まり、発信方法や資金づくり、仲間づくりなどを実践的に学びながら、自分らしい活動プランをつくり上げます。



9 月 10 日(木)～11 月 6 日(金) 全 5 回

18:30～20:30

at プラザきくる 3 階 会議室

きくせん
HP



対象

参加料

地域活動、市民活動をレベルアップしたい人 2,000 円(全 5 回通して)

右下の申込フォーム(二次元コード)からお申し込みください。

※詳しくは、市民協働センター「きくせん」の HP (kikucen.net) をご覧ください。



申込み & 問合せ 菊川市市民協働センター

メール info@kikucen.net TEL・FAX 0537-35-2220

9月のイベント・講座スケジュール

参加者募集中！

詳しくはきくせん HP▷ イベントをご覧ください→



8/27
木

きくがわ未来塾 成果報告会

18:30~20:30 プラザきくる3階301会議室

見学科：無料

主 市民協働センター
申 0537-35-2220

9/3
木

夕暮れカフェ ゲスト：劇団静岡県史主宰 松尾朋虎さん & 劇団員の学生たち

18:30~20:00 市民協働センター 参加費：500円（お茶菓子代）学生無料

主 市民協働センター
申 0537-35-2220

6
日

田んぼアート菊川 2026 収穫祭

10:00~14:00 下内田 4261-1 付近 参加費：500円（軽食・お茶付）

主 田んぼアート菊川実行委員会
問 菊川市商工観光課 0537-35-0936

10
木

第1回きくがわキャリアゼミ

18:30~20:30 プラザきくる3階会議室 参加費：2,000円（全5回通して）

主 市民協働センター
申 二次元コード→



12
土

菊川まちづくりサミット

10:00~15:00 プラザきくる3階会議室

参加費：無料

主 市民協働センター
問 0537-35-2220

13
日

フィットネスエクササイズ体験会

13:30~14:00 プラザきくる1階多目的ホール他 参加費：1,000円/日
14:30~15:30

主 NPO法人スポーツ・フューチャー
申 090-9848-0889（古池）

19
土

講演 相良油田から、人工石油へ

開場 13:00 / 開演 13:30 牧之原市相良総合センター い〜らホール 自由席：1,000円

主 劇団静岡県史
申 二次元コード



26
土

小笠高校 小さな収穫祭

9:00~売り切れ次第終了 プラザきくる1階

入場料：無料

主 静岡県立小笠高等学校
問 0537-35-3181

菊川びとにインタビュー

劇団静岡県史 松尾朋虎さん



高校時代、担任の先生の勧めで演劇と出会った松尾さん。劇団の立ち上げや苦しい時期を乗り越え、県立劇団 SPAC での経験を経て菊川へ移住。菊川文化会館アエル元館長 丸尾さんとの出会いが「地域の作品をつくる」という想いを後押しし、『牧之原開拓使』など菊川発の舞台が生まれました。「劇場が演劇を応援してくれる環境は本当に貴重。アエルは全国に誇れる演劇ホール。その価値を知り、誇りに思ってもらいたい」と語ります。演劇を通して地域の宝を掘り起こし、菊川で生まれた作品を全国、そして世界へ届けながら、初演は必ず菊川で行う。その姿勢に、地域への深い感謝と愛情が表れています。

レポート

子どもたちと高校生が彩る窓ガラスアート



7月30日、プラザきくるで「きくがわジュニアアート教室」がNPO法人アートコラールきくがわ主催で開催されました。午前は市内の小・中学生24人と常葉大学附属菊川高校美術・デザイン科の生徒34人が参加し、御前崎市在住のアーティスト Jiro Suzukiさんと高校生が前日に描いた下絵に、子どもたちが思い思いの色を重ね、夏らしい窓ガラスアートを完成させました。午後は高校生や一般参加者を対象に、絵と言葉で思いを表現するワークショップを開催。Jiroさんの講話の後、それぞれ自由な発想で作品づくりに取り組み、発表を通して互いの思いを伝え合いました。